

令和 7 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2025 年 10 月 15 日

学 長 殿

所属部局・職名

(所属・学年) 教職大学院・院生

申請者名

(学会発表助成の場合は参加者名)

遠藤 汐莉

<p>助成の区分 (該当するものに○)</p>	<p>学会発表助成・学術出版助成・学術論文発表助成</p>
<p>研究活動名</p>	<p>日本特殊教育学会第 63 回大会</p>
<p>成果の概要</p>	<p>今回の研究活動では、特別支援学校（知的障害）の児童を対象に、演劇的手法を取り入れた「読むこと」の授業を実施し、その成果を自主シンポジウムの話題提供として発表した。授業では、児童が物語の登場人物になりきり、音読や動作、表情を用いて理解を深めるとともに、グループでの即興的な演技や対話を通して協力やコミュニケーション能力の育成を図った。児童の主体的な参加が促され、読むことへの意欲や表現力の向上、さらには仲間との連携を深める効果が確認できた。</p> <p>発表準備の過程においては、自身の研究を改めて振り返りながら丁寧に分析を行い、研究の強みと課題を明確にすることができた。これにより、今後の研究の方向性を具体的に見出し、実践と理論の両面で深化を図る契機となった。</p> <p>発表当日は、指定討論者の先生から心理学的視点を踏まえた貴重なご意見をいただき、自身の研究理解を広げるきっかけとなった。また、参観者の方々から多様な質問や意見をいただいたことで、研究をより客観的に見つめ直すことが可能となった。これらのフィードバックを通じて、自分の研究の課題だけでなく潜在的な価値についても深く再考できた。</p> <p>今後は、本発表で得た知見や課題を基にし、特別支援教育の授業の質的向上を目指し、教材や指導法の工夫をさらに推進していく所存である。</p>